

聞いてください

保育・子育て 私の悩み

〈相談〉

ゼロ歳児担当です。私の不注意で

子どもにケガをさせてしまいました。

保護者に謝り、納得していただきましたが、

自信がなくなり、保育士をやめたいと思ってしまうのですが、

先輩は、そんなに落ち込まなくても大丈夫だと

言ってくれましたが…。自分がミスをしたとき、

どう気持ちを切り替えればいいのか？

(保育士・保育歴1年)

▼このコーナーでは、保育・子育てに関する悩み、困りごと、ほかの人になかなか聞けない疑問などを募集しています。編集部までお送りください。
Email: udg79423@nifty.com
FAX: 03-6265-3230

ああ、どんなに心が痛かったか、保育士ならばみんな一度や二度は経験したことがあるのではないのでしょうか。子どもの命を預かる仕事なのだと、わかればわかるほど、この「恐れ」は大きくなっていくものだと思います。

私も新人保育士のころ、動いているブランコに足を踏み入れた女の子の額に、大きなけがをさせてしまいました。なぜあのとき、気がついてやれなかったのか、どうして予測できなかったのか、と子どもを守れなかった自分に腹も立ち、そのときの場面は40年後の今も忘れることはありません。

だから、私は公園への散歩は人一倍注意深くあそぶ保育士になりました。ブランコなんて、子どもが近づくだけでヒヤリとするし、一緒に保育をする同僚にも、何回

一人で抱え込まず
職員集団で
しっかり検討を

も「そのような事故が起きる」ことを伝えるようになりました。

私のまわりにも、人数確認を怠ったばかりに、散歩先に子どもを置いてきてしまった経験や、「誰かが見てくれるだろう」という慢心から、誰も見ていない場所で子どもが危険な目にあった経験をもつ保育士がたくさんいます。その人たちもきっと、「保育の現場に立つのが怖い」という気持ちと闘いながら、今日も子どもたちの笑顔を守って、保育をしているのだと思います。

「自分がミスをしたときの気持ちの切り替え」なんて、できないくらいの保育士を私は信頼します。その経験をしたことによって、あなたはそれ以前の自分とは明らかに違う自分になっていることを自覚しているはずです。それこそが

保育士のキャリアです。

いいことばかり楽しいことばかりの保育の仕事ではありませんが、私たちには、その事実を客観的に(自己責任ではなく)「誰がそこにも起きる可能性があった事故」として検討するなかまがいます。

今も心配なのは、事故前と今とで何も環境が変わっていないからではありませんか?二度と同じようなことが起きないように、職員集団でしっかり検討をして、手立てを打つことが、職場全体の安全面の向上になります。

こんな経験をした保育士が、その後「保育士を続けてよかった」と思える出会いが、きっとたくさんあります。一人で抱え込まないで、なかまと楽しい保育を紡いでいってほしいです。

▼今月の回答者▼

平松知子 ひらまつ ともこ

2007年に、名古屋市で初めて公立保育園の民営化開園した社会福祉法人熱田福祉会けやきの木保育園園長を経て、今年4月から熱田福祉会理事長。子どもと保護者と職員がしあわせである保育園をめざしている。パンダと職員会議が好き。著書『保育は人 保育は文化』『発達する保育園』(子ども編・大人編) ひとりなる書房 共著『保育と憲法』 大月書店

